

『スピーキングテスト改善を』

先日、初めて実施された東京都の中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）を受けてきた。

テストは中学校で身に付けた英語を話す力を客観的に評価するのが目的で、結果は都立高校入試に加点される。ただ反対意見も多かった。「採点の詳細が明らかでなく、本当に公平にできるのか分からない」「受験できない人には筆記の学力検査が同水準の生徒の平均点を加点するという算出方法がおかしい」などだ。

確かに英語を話す力は将来必要になると感じるので、実施自体はいいことだと思う。ただ、採点方法や不受験者の扱いは改めるべきだ。たとえば AI を活用して二重に採点するなど工夫すれば、公平さを保てるのではないか。

会場の高校に行ってテストを受けるという貴重な経験ができたのはよかったが、その結果は入試にかかわる大切なものなので、もっときちんとした制度にしてほしいと思う。

3年生 I・Y （2022. 12. 10 毎日新聞）